

キーワードから考える  
ことばの学習(1)  
～ことばの初期学習を中心に～

葛西ことばのテーブル  
三好純太

パターン

pattern

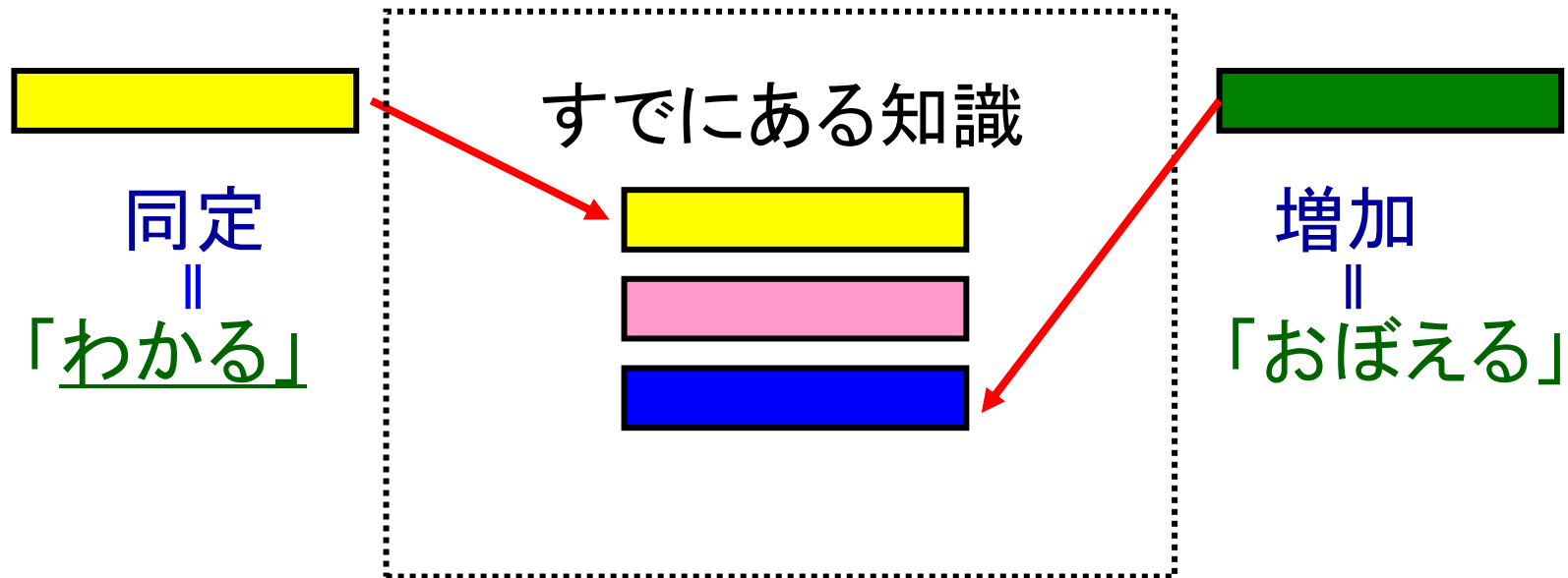
# パターン

情報を、すでにある知識と照合して認識すること

そのようにして得られた知識

# 旧知識と新知識

情報



## レイ・ジャケツケンドフ 「心のパターン」

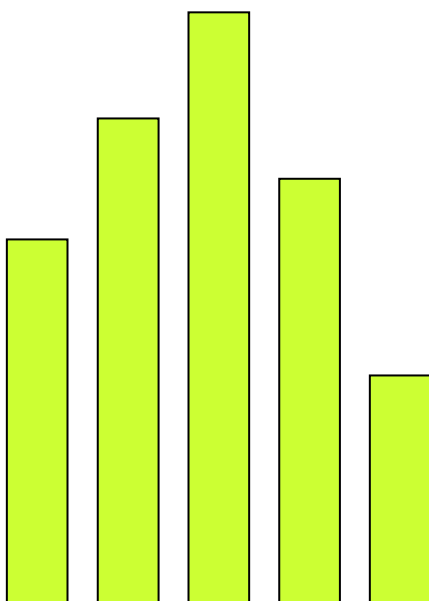
人間は、パターンの獲得により学習を進める

音楽・美術・運動・・・

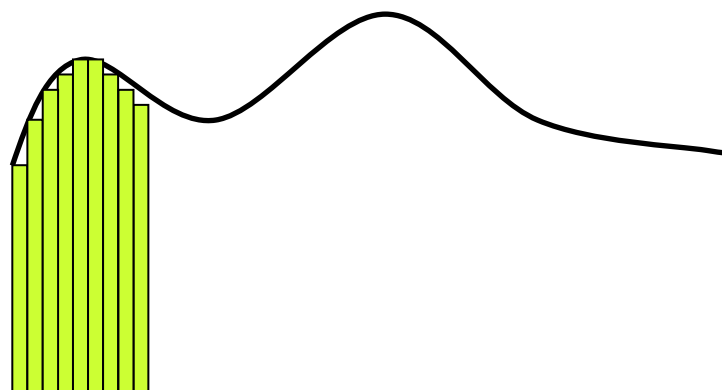


すべての経験は、パターンの学習により高度化

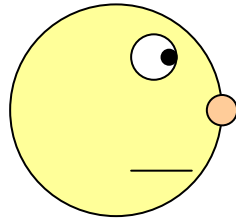
# デジタルとアナログ



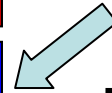
あいまい・感覚的と思われ  
れるものも...



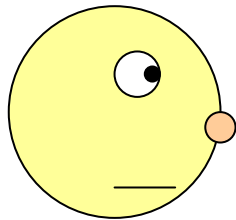
# パターンの蓄積



少ないパターン



同化・除外



豊富なパターン



より細かなパターンと  
して認識

直感的に学習

# ことばの習得におけるパターン

## ◎事物名詞

=即時マッピング(1回の経験で覚えられる)

## ◎動詞・形容詞・文法(助詞・動詞活用)は困難



経験の積み重ねから、類推して習得  
(パターンの蓄積)



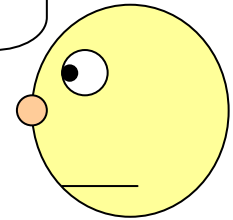
# 動詞「のる」の習得

「クルマに、のる」

ローカル・ルール

単一パターン

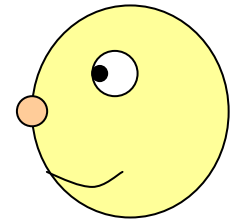
車のとき  
だけだ



「クルマに、のる」  
「ヒコウキに、のる」  
「フネに、のる」

運用パターン  
の増加

どんな文で  
も使えるぞ



「ほうきに、のる」  
「おとうさんが、のる」

グローバル・ルール

一般的な  
運用規則の  
獲得

# 「パターン」ということばの持つ意味

①原型・模倣 / 倣って作る

- ※自閉症＝パターン依存（**型通り**：同じことを繰り返す）
  - ・新しいパターンの産生が困難

②模倣する・まねることにより、生み出されたもの

## パターン学習


同じ型（構造）のものを、例にならって、やってみることに  
よって、新しいパターンを作り出す


# パターン学習の例


## ◆ 連語練習ワーク

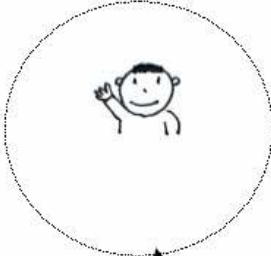
連語練習 2

なににのる? ( 月 日)

    
のる

    
のる

    
のる



のっているものを、かいてみよう!

ことばのテーブル


# ◆ 連語練習ワーク

ばす に のる




移動手段を表す  
助詞「に」

連語練習 2 ( 月 日 )  
なに に のる？




ばす	に
----	---

  
のる



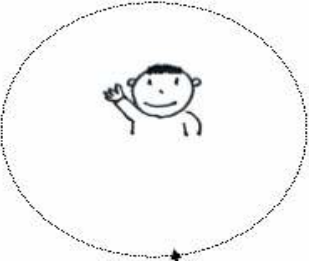
ふね	に
----	---

  
のる



ひこうき	に
------	---

  
のる




--	--

のっているものを、かいてみよう！

ことばのテーブル

## ◎ 連語練習ワークの意義

- 文構造における助詞の適用

 に のる

こういうときは  
「に」だ・・・



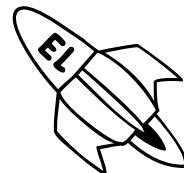
- いろいろな目的語に対しての動詞の適用

→ 動詞連結の一般化

船にも飛行機にも  
「のる」だ・・・



- テーマとなる文構造と合致した文の産生



のるものを、  
書かなきゃ・・・



# 各テーマのパターン


～に のる


# 学習構造のパターン


- 「名詞＋助詞」
- 最後に絵を描く etc

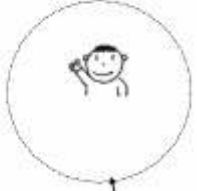
連語練習 2

なにに(に)のる? (月日)

    
のる

    
のる


    
のる


    
のっているものを、かいてみよう!


こぼのサークル


連語練習 5

なにを(を)のむ? (月日)

    
のむ

    
のむ


    
のむ


    
のんでいるものを、かいてみよう!


こぼのサークル


連語練習 14

なにを(で)たべる? (月日)

    
たべる

    
たべる

    
たべる

    
たべるどうでも、かいてみよう!

こぼのサークル

# パターン学習の意義

● 課題構造の洞察 → 抽象的思考力の向上

● 繰り返しの中で、直観されてくる内容

(ことばの規則)



(ここには、モノの名前が入るんだな・・・)

(ここには、動きのことばが入るんだな・・・)

(ここには何か、意味のない短い音が入る・・・)

形式から内容へ

# 心のパターンを豊かにするためには

## ● 毎日の生活の中では…

さまざまなパターンに触れる

より多くのパターンを経験することにより、それぞれの違いや、その世界の広がりを意識する

## ● 学習においては…

いろいろな種類の学習をする

内容のいろいろ

課題構造のいろいろ



# パターンの多様化(高度化)を支えるもの

## ◆ 対象に対する興味・関心

- \* 高い能動性(志向性)

- \* ことばの場合 → コミュニケーション意欲  
他者の存在や活動への注目

## ◆ 比較・類推の能力

どこに違いがあるか／どのような関係があるか

能動性

activity

# 能動性

activity

はっきりとした意思や意図を持って、  
物事に向かっていくこと

# 「能動性」ということばの解釈 ①

自発的に行動する

自由に行動する

自分から他者に働きかける

積極的・・・のよう  
なイメージ？

⇔ 受身的



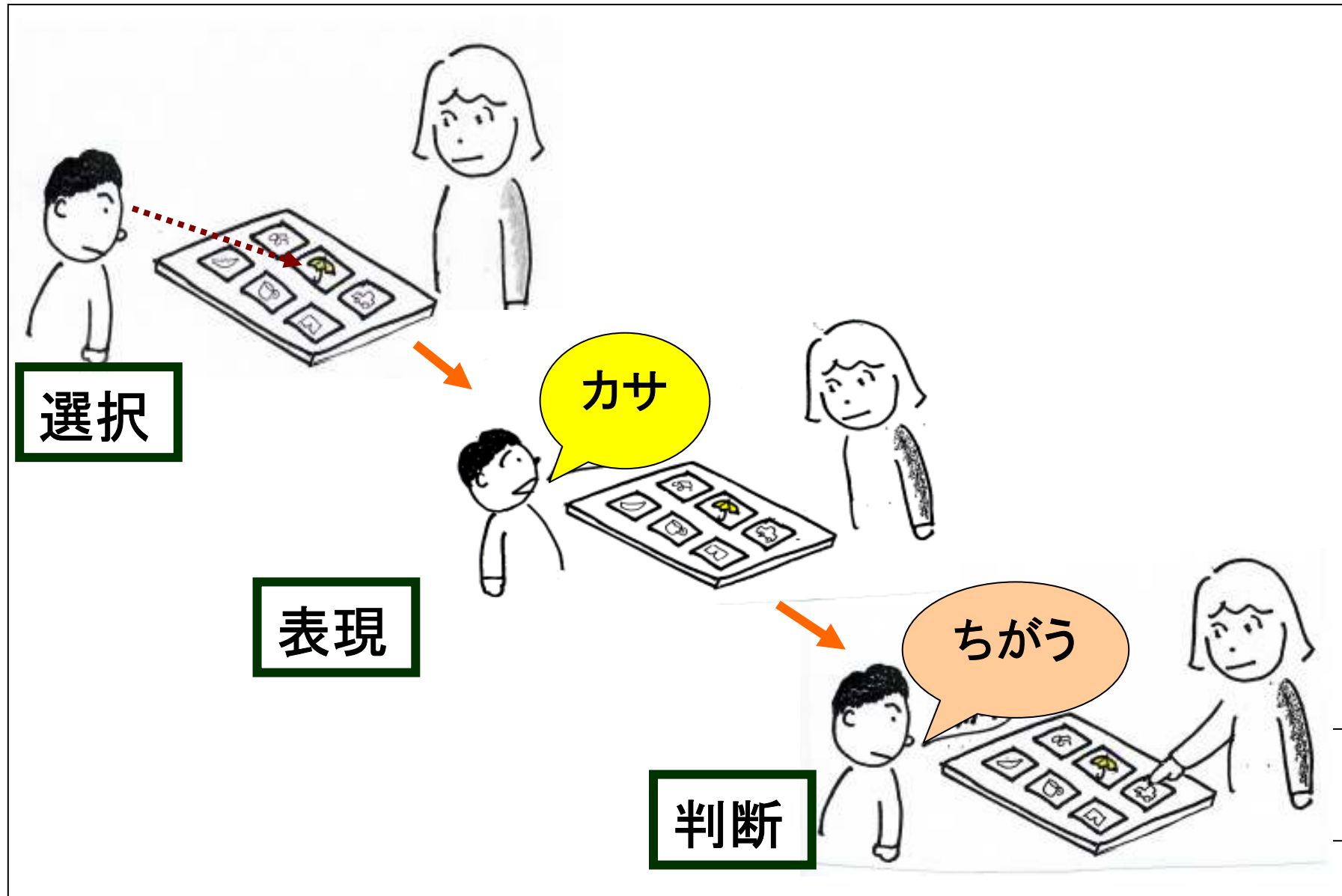
# 能動性を高めるための学習課題

## ■ 指示課題

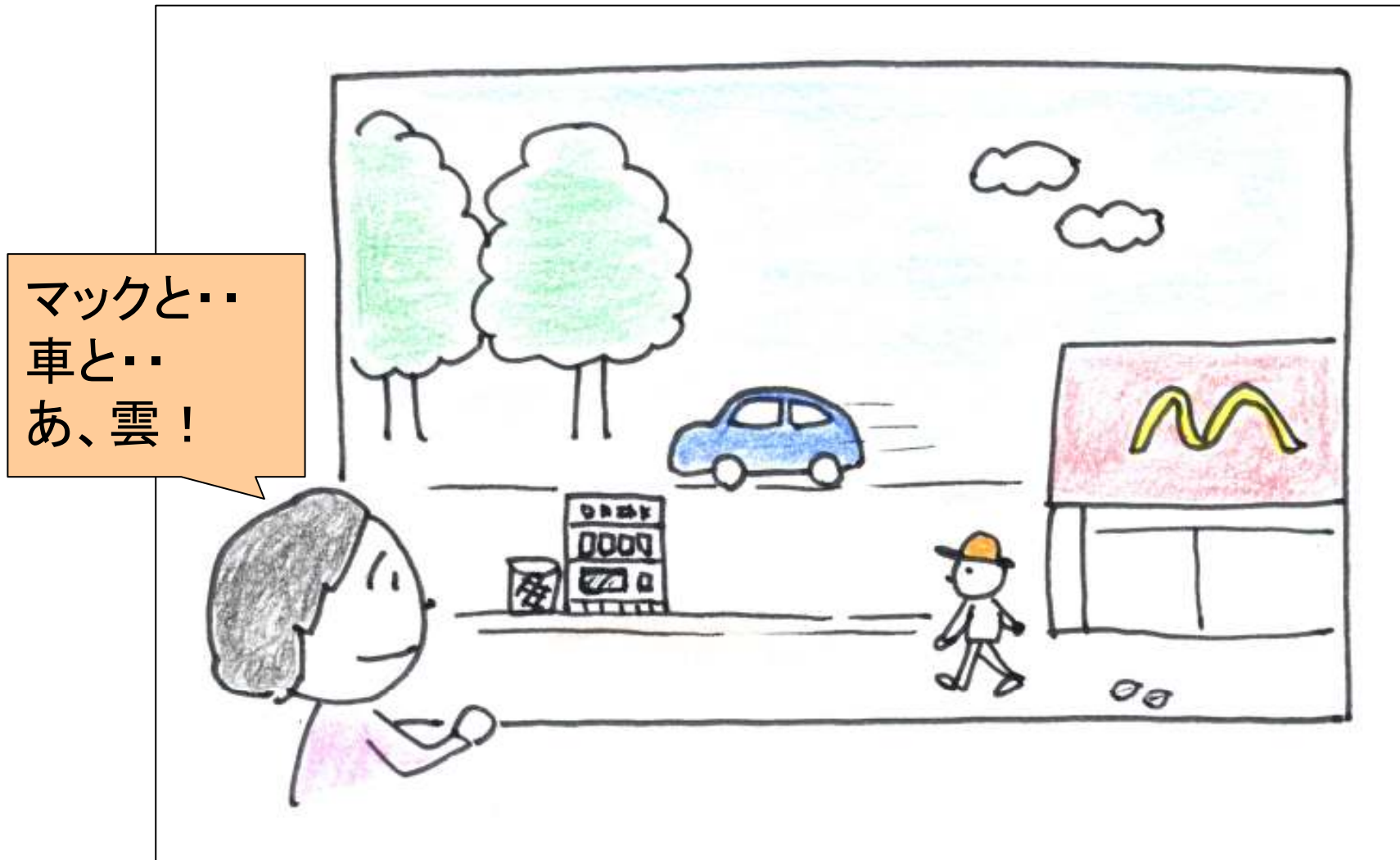
● 指示呼称

● 探索呼称

● 指示呼称 並べられた絵カードを呼称して、相手に取らせる



# ●探索呼称 窓から何が見える？



呼称する対象を自ら探索し、選びとる

## 「能動性」ということばの解釈 ②

対象に、強く向かって行こうとする傾向

目標達成・問題解決を目指す姿勢

↓  
情報が必要

↓  
情報の収集に積極的

= 受信行動の感受性が高い状態



# 受信行動の感受性が高い状態とは・・・

「よく見る」「よく聞く」

見る ≠ いっしょうけんめい見る

聞く ≠ いっしょうけんめい聞く

\* see ではなく watch

\* hear ではなく listen

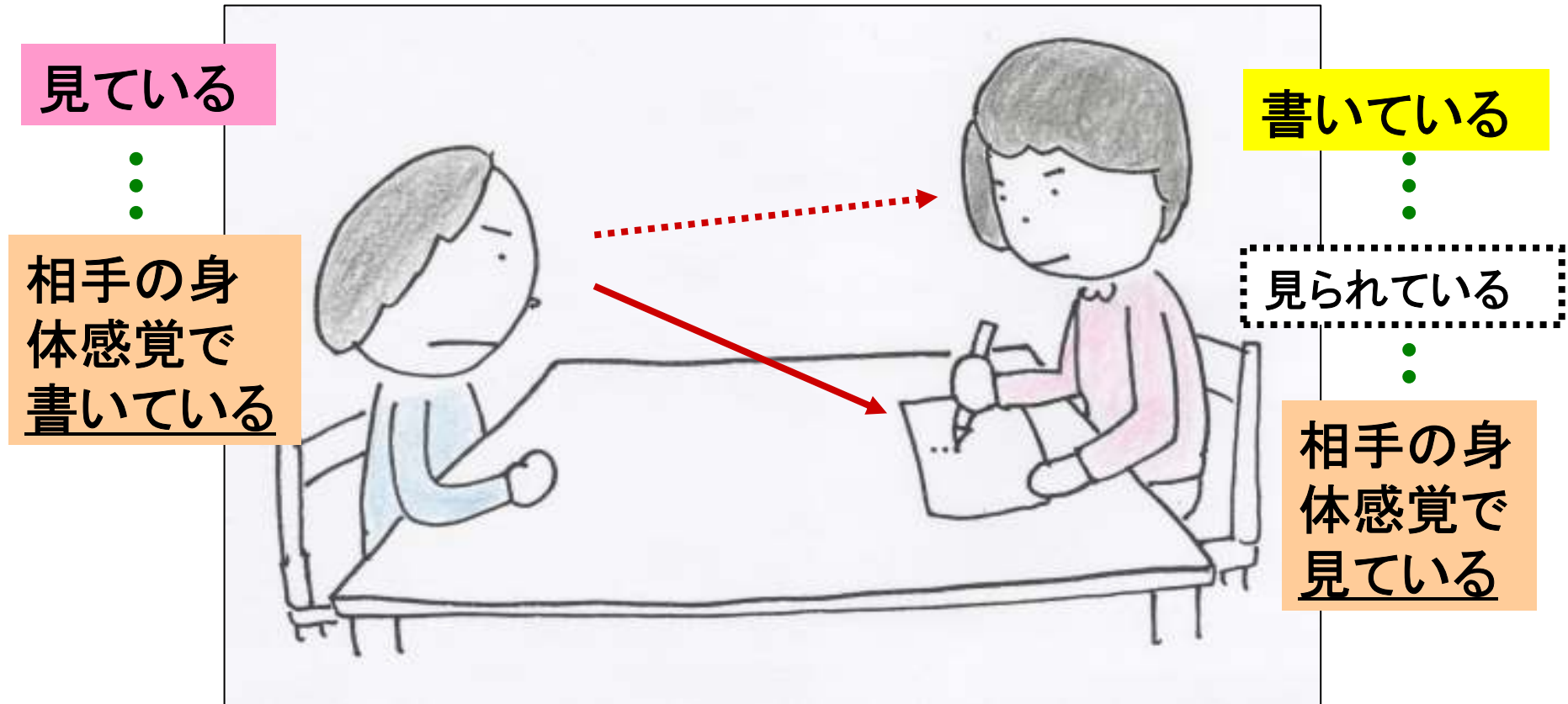
◆ 対象に強い注意を向ける = フォーカス (焦点化)

見る学習

見る活動

見るコミュニケーション

# 見る学習：他者の活動を見る

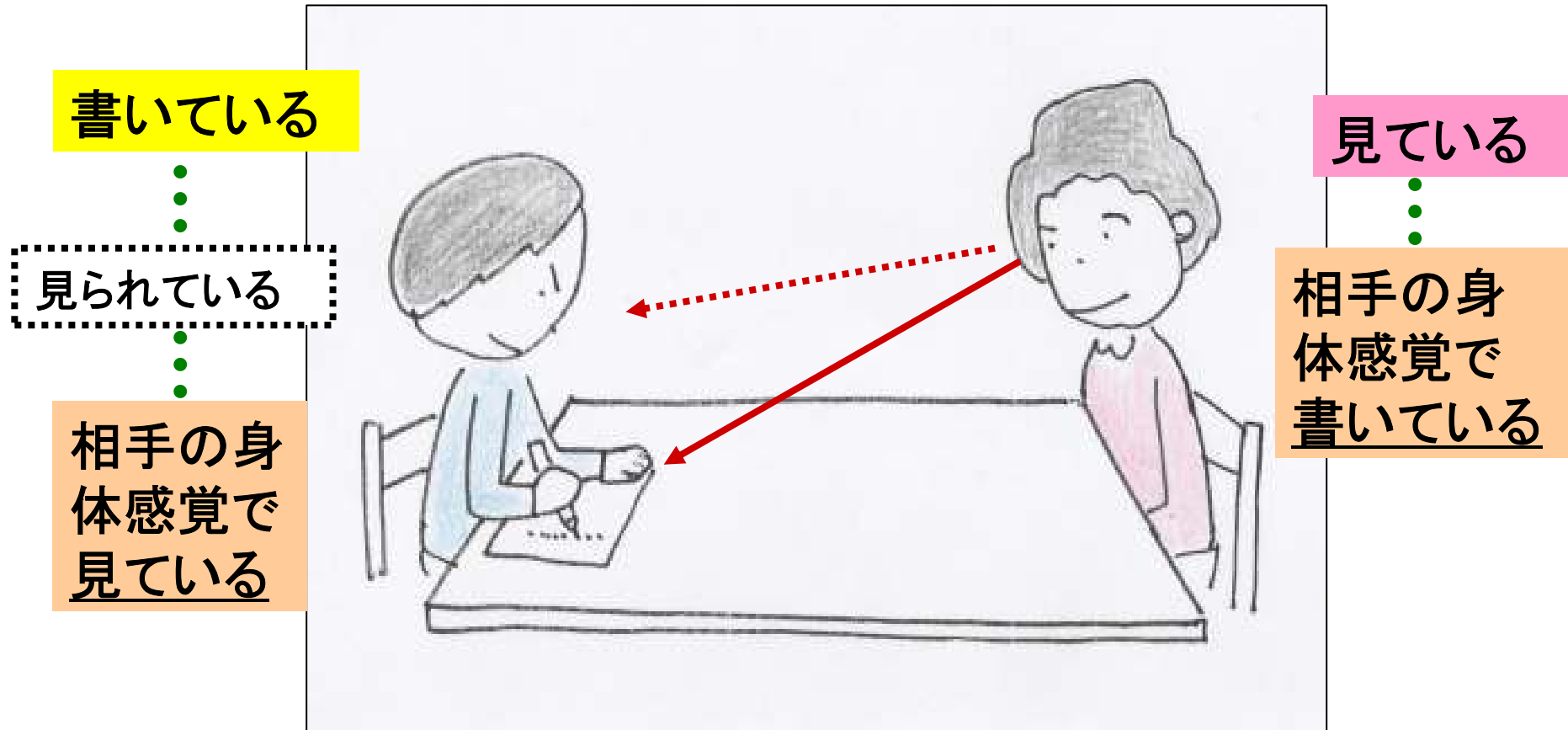


行為の共有

移し身の感覚

共感・愛着の形成

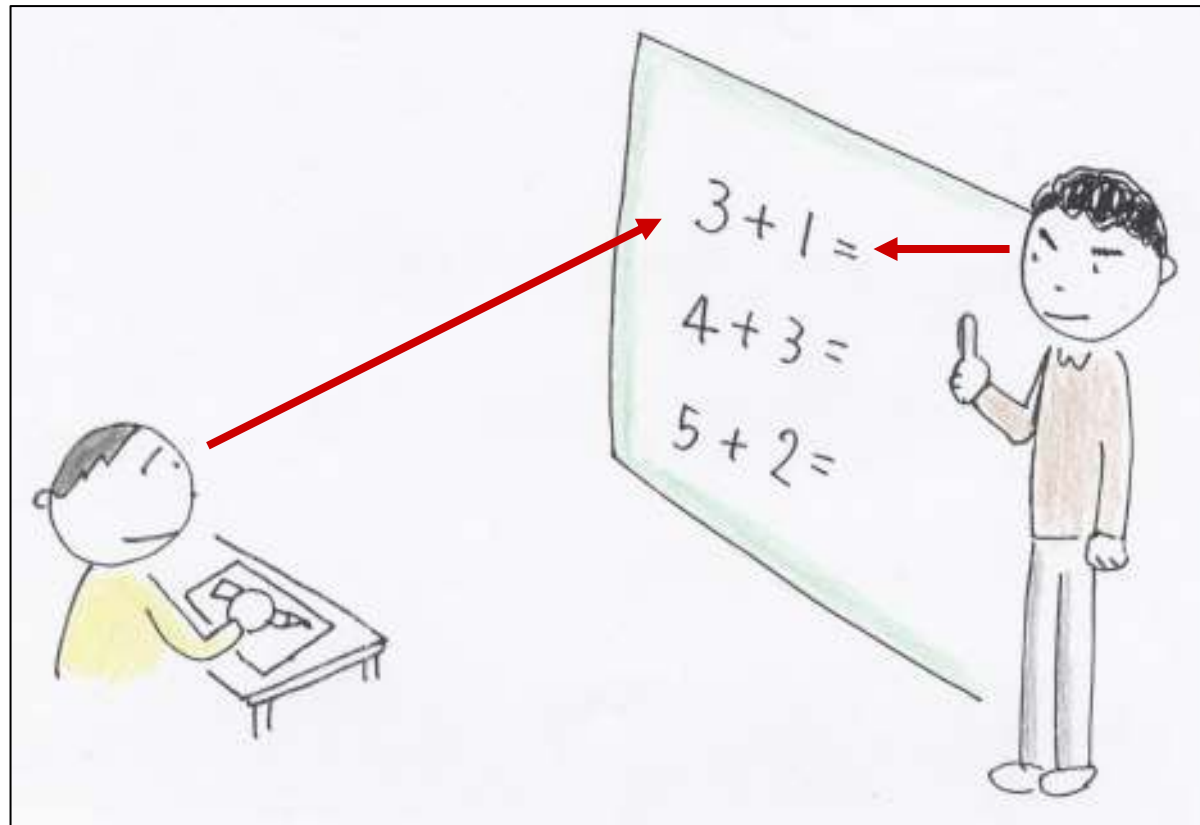
# 見るコミュニケーション： 他者から見られる



共感・愛着の形成

見守られていることによる助力

# 見るコミュニケーション: ともに見る



ともに目的に向かって  
進んでいる

目的共有の  
大切さ

共になにかをしている、と感じる

★目的



共感覚



共感



コントラスト

# コントラスト(対比・対照)

違いの大きなもの・相反するものが、同時に示されることにより、それぞれが学習しやすくなる



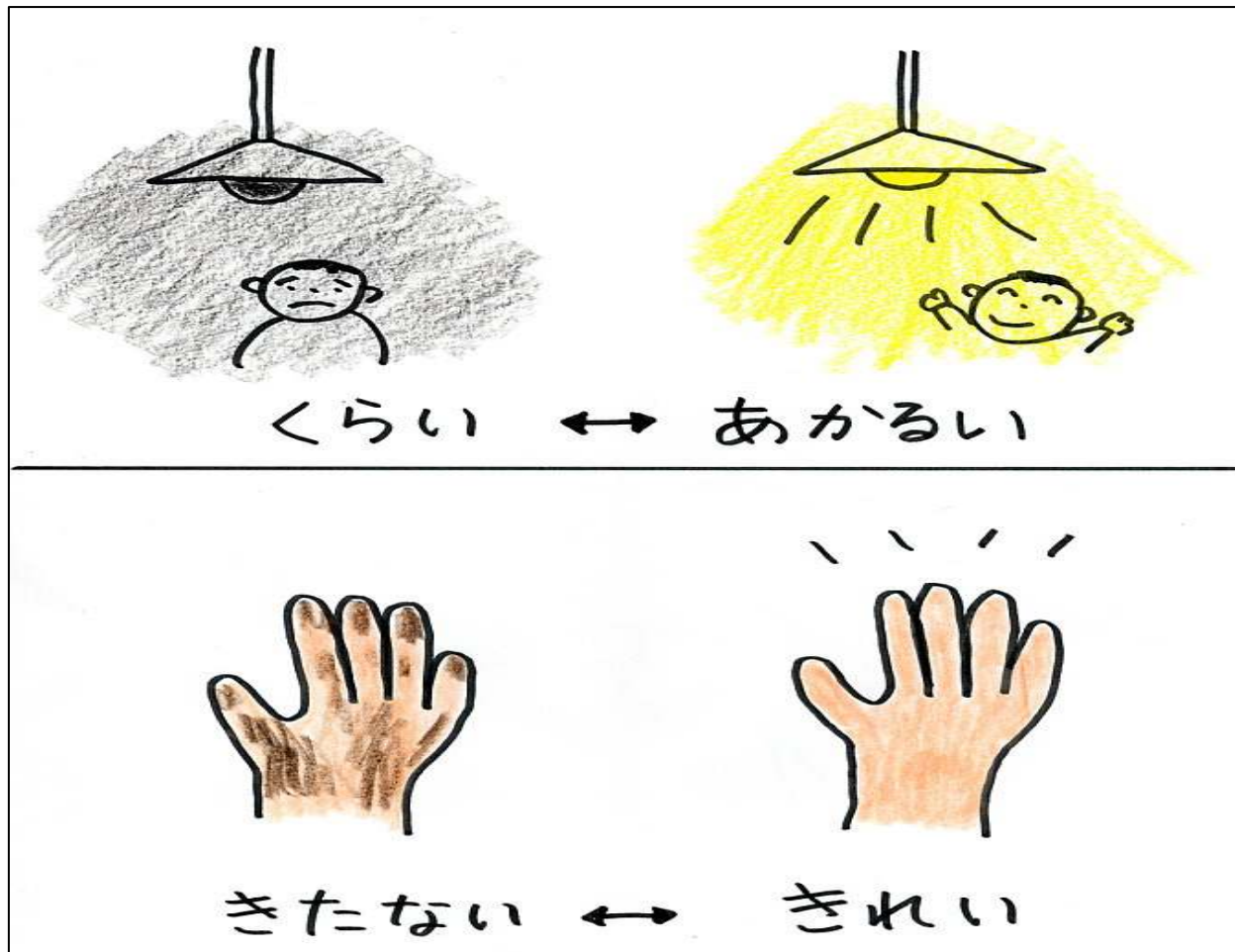


# 学習におけるコントラスト

- 記憶効果を高める呈示方法
- 形容詞・動詞学習に重要

# 形容詞の学習におけるコントラスト

## ◆ 反対語の学習



# 形容詞や動詞の特質

習得のためには、比較・類推の能力が必要

◎形容詞 ≠ 即時マッピング



それぞれの性質の違いに、気づき



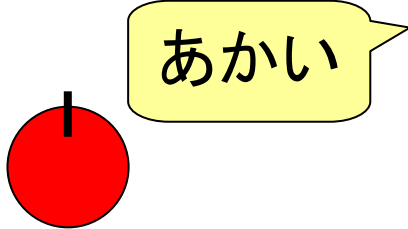
ことばの意味を類推して習得しなければならない

相違点・類似点の抽出

# 意味の推測を促すもの

## ① 文脈の手がかり

- \* 既知のものに対して、言われたことは



あかい

「りんご」のこと  
じゃないな・・・

## ② 文法の手がかり

- \* 各品詞らしさ
- \* 文中の位置

- ・ 形容詞:「～い」
- ・ 動詞:ウ列音で終わる
- ・ 語尾の活用
- ・ 形容詞は名詞の前につく

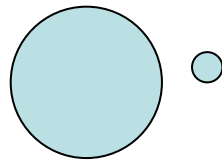
## ③ 違いの大きさ

# ③ 違いの大きさ・明確さ

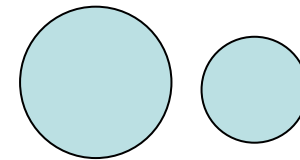
## ● 違いの大きさ

\* 違いの大きな比較

学習が容易



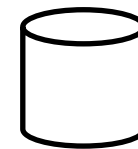
\* 違いの小さな比較



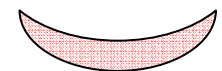
## ● 違いの明確さ

「とうめい」という性質の学習例

「とうめい」なのはどれ？



例示：  
無色透明

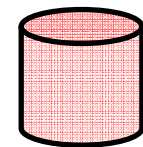
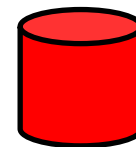


難しい

色つき不透明

色つき透明

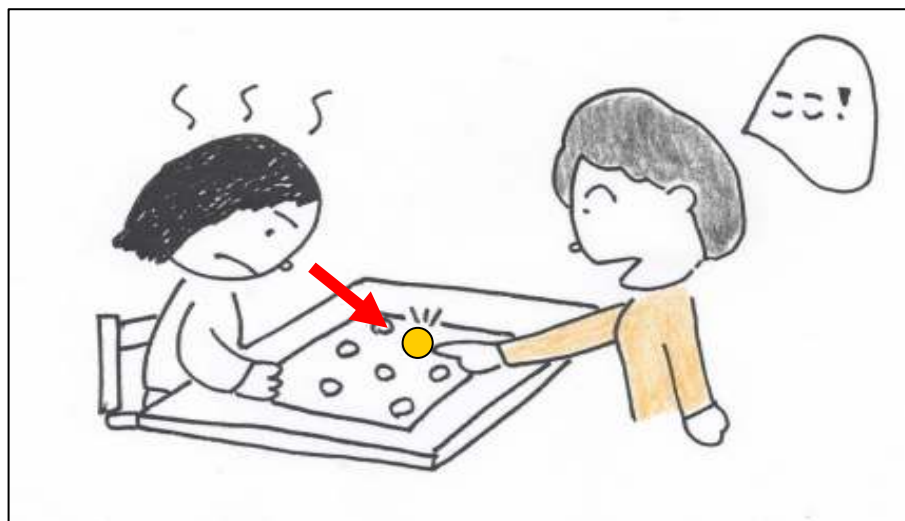
易しい



違いに対する気づき・注目



フォーカス  
焦点をあてる



# 語彙に応じたコントラストの工夫

## ● 比較語

\* 性質(属性)の反対性

明るいー暗い    上ー下

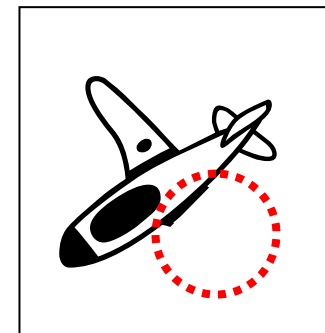
## ● 動詞

\* 方向の反対性

開けるー閉める    あげるーもらう

## ● 名詞

\* 名称部分への注目



何が  
ない？

療育



二律背反

antinomy

# 二律背反

相反するものが同時に存在する

両義性

アンビバレント

一匹オオカミの大群  
少し上ってる下り坂  
小さい大男

形容矛盾

両刃の剣

両義的意味  
(二面性)

愛憎

アンビバレント  
相反する感情・認識

# 吃音の場合

★治療における二律背反

吃音を治そうとする努力 ⇔ 吃音の受容



吃音に対する意識化



コンプレックス増大



悪化のリスク

# 治療の方向性

吃音を治そうと  
する前向きな  
姿勢

吃音を受容し、  
自己の価値観を  
他に求めていく  
姿勢

あきらめず、こだわらず

治療者

吃音の人

# ことばの学習における二律背反①

## 発達障害の子ども

ことば(母語)は、学ぶ  
ものではない



ことば(母語)を、学ばな  
なければならない

## 療育者

ことば(母語)は、教  
えるものではない



ことば(母語)を、教え  
なければならない

効果？

# ことばの学習における二律背反②

## 学習プログラム

**$i+1$**  が基本



情意フィルター

現状能力の、ひとつだけ上の段階のものを学習する

能力ぎりぎりのものは、心理的負担大

しかし・・・

## 二律背反は人間に根源的なもの

人間の生活そのものが、さまざまな二律背反や  
両義性に満ちている

絶対的な、正誤や良悪を判断できることは少ない。

反転図形

図と地の関係



見方によって違っ  
て見える



## コミュニケーションにおける両義性

おかあさんは、  
ポチが、おなかがすいている  
と、思っている...



ポチが  
鳴いてたよ



おなか  
すいてるのかな



つねに他者の視点や意図を共有しながらコミュニケーションしている

# ★二律背反に対する態度

相反するものの許容

\* 双極に振れない

双方向的な物の見方

いい加減なまじめさ

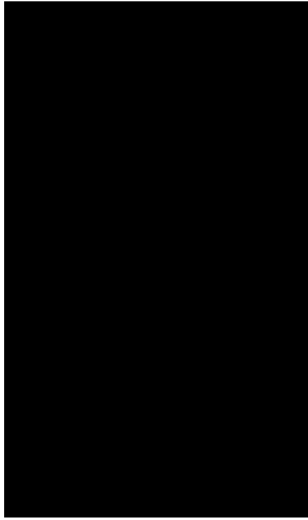
信じていない確信

コミュニケーション

關係性

# 関係性

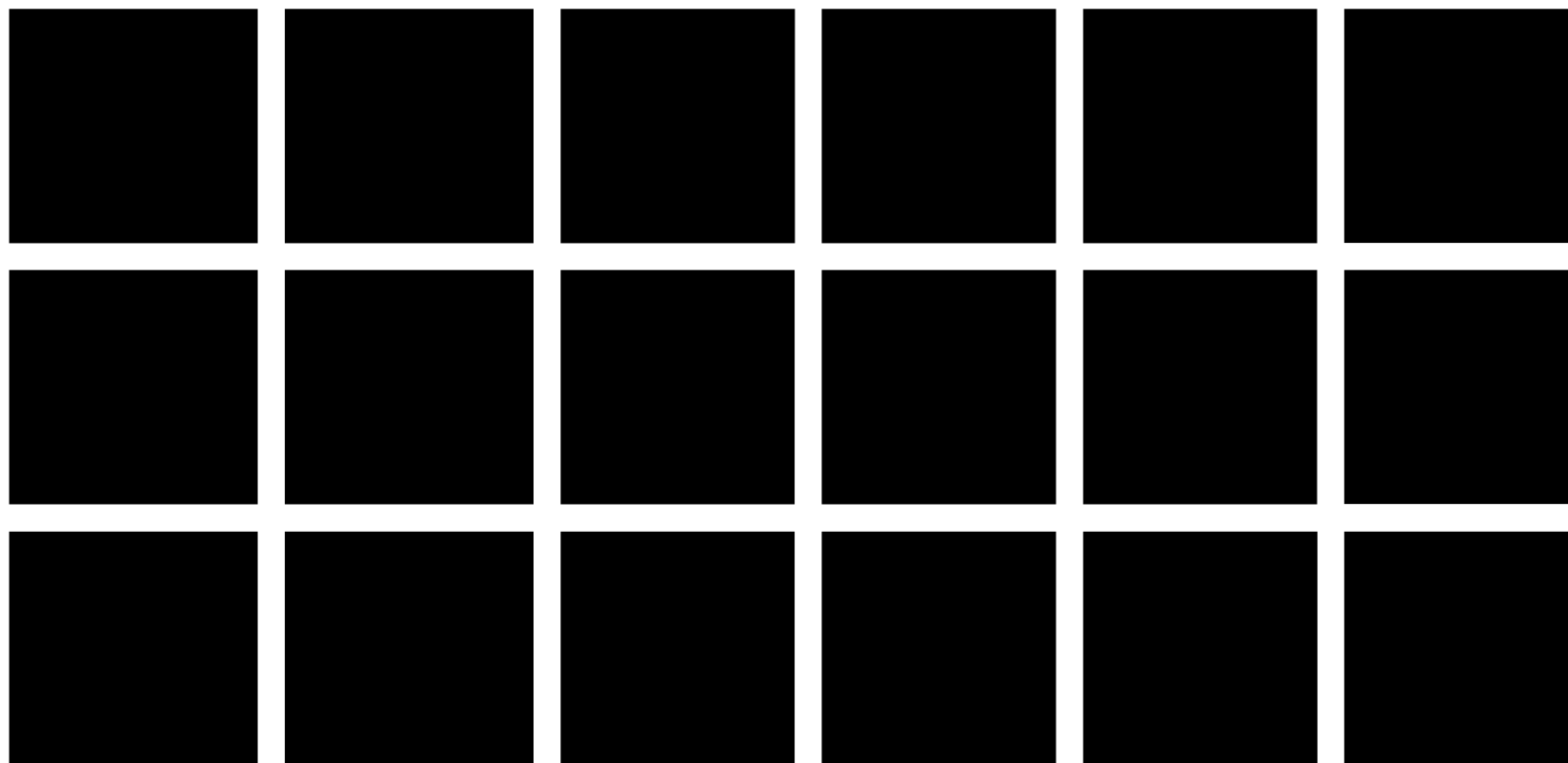
何か と 何か のつながりかた



問

二律背反

ネットワーク



能動性

共感

## 【参考・引用図書】

- 「レキシコンの構築」 大修館書店
- 「心のパターン」 松柏社
- 「心の生得性」 共立出版
- 「子どもたちの言語獲得」 大修館書店
- 「こころを生み出す脳のシステム」 NHKブックス
- 「からだ：認識の原点」 東京大学出版
- 「はじめての日本語教育」 凡人社
- 「ことばの発達と障害」 大修館書店
- 「かの蒼空に」 双葉文庫

